

(公社)京都府鍼灸師会、コロナ禍の中での発展！

蒸し暑い日が続いて体調を崩しやすい季節ですね。智恵で「ほてり」を取る

毎年、熱中症がニュースになりますが、江戸初期の夏は、気温が下がり、飢饉になるほど夏は涼しかったのではないかと言われています。それが今では地球温暖化で気温が少しづつ上昇して、避暑地でもエアコンが欠かせないようになっていました。

熱中症の予防にはエアコンは大切ですが、暑い夏の「ほてり」を取るために、いかと想い浮かんだものは、夏の涼を求めることは江戸の情緒として当時より受け継がれて、今でも行われているのが、団扇・打ち水・葦簾よしず・グリーンカーテン・風鈴などがあり、「これらで涼を求めてみるのはいかがですか?」

団扇は、古墳時代にはすでに使われており、江戸時代には夏本番！浴衣を着て、朝顔のグリーンカーテンに打ち水をして団扇をあおぎ、風鈴の音色をゆっくり聞きながらスイカを食べたりすると、江戸の情緒を感じながら「ほてり」がそれそうですね。また、休日には涼を求めて「滝浴み(たきあみ)」というのも良いですね。

（公社）日本鍼灸師会ホームページhttp://www.hanayaku.or.jp/まで、

無料購読登録は（公社）日本鍼灸師会のホームページhttp://www.hanayaku.or.jp/まで、

（公社）日本鍼灸師会メールマガジンNo.79 2017年7月
7日発行より抜粋

（T・K）

去る5月24日（日）令和2年度（公社）京都府鍼灸師会定時会員総会が開催されました。会員総数176名、出席者18名、委任状109名、計127名にて総会は成立し、「2019年度の事業報告」「令和2年度の事業計画及び収支予算の報告」のあと、「2019年度の決算書」の件、「定期の変更及び役員選任規定の改定」の件、「任期満了による役員選任」の件等の決議事項の変更及び役員選任規定の改定によりこれら的事項は承認され、無事総会は終了しました。

今回の総会は新型コロナウイルス感染拡大予防の為の緊急事態宣言下での準備となり、5月7日からはその期間も延長され、開催そのものが危ぶまれる状態でした。そんな中、公益社団法人の活動を監督する内閣府から「新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う公益法人の運営に関するお知らせ

せ」としてインターネットを介した「遠隔会議システム」の活用を認める内容が、内閣府公益法人メールマガジン第93号に掲載されました。それによると、評議員会や理事会は出席者が一堂に会するのと同様に、相互に十分議論できる環境であれば、WEB会議、テレビ会議、電話会議などにより開催することが出来るとありました。しかし総会については「書面・電磁的方法による議決権の行使（一般法人法第51条）や議決権の代理行使（同52条）、決議の省略（同58条）」をもって代えることが出来る」とあるだけだったため、行政庁に確認を行ったところ、「会場で行うのと同じ流れで行え、役割（議長、司会等）が構成でき、意見が言える状態であればWEBでの総会が可能」とのことがわかりました。このため、感染予防策を徹底し、WEB参加を併用

センター第7C会議室で開催する運びとなりました。ただ当日の決議事項に該当する新事業年度役員3名とも京都府下在住者であり、当日の参會には電車の利用が必要な為、まだ感染の危険性がある状況での移動は避けたいとのことで、内2名がWEBでの参加となりました。総会後の臨時理事会も併用で行い、の臨時理事会も併用で行い、代表理事・業務執行理事の選任が滞りなく行われました。

* * * * *

今般の新型コロナウイルス禍により健康被害は基より、経済的にも甚大な被害が生じ、今もその渦中にいるわけですが、今般の事象で、在宅でのテレワークやインターネットを用いた学習など、ネットを介しての業務遂行手段の普及が構成でき、意見が言える状態であればWEBでの総会が可能」とのことがわかりました。このため、感染予防策を徹底し、WEB参加を併用

に参加出来る京都市内の限ら



(記・岡田)

はりきゅっていきましょう！

毎月8日・9日はハリきゅうの日

（記・岡田）

公益社団法人 京都府鍼灸師会

令和2年 夏号

（公社）日本鍼灸師会では広くどなた様にも鍼灸東洋医学に関する情報メールマガジンの受信をお薦めしております。

団扇は、古墳時代にはすでに使われており、江戸に入つてから今の形になつたようで、庶民も使うようになつたようで、夏祭りには欠かせませんね。打ち水は、気化熱と蒸気圧度が下がりますから、できれば芝や土が良いですね。

（朝顔・ゴーヤーなど）では、グリーンカーテンの方が生きている植物ですので効果が高いようですね。

これから夏本番！浴衣を着て、朝顔のグリーンカーテンに打ち水をして団扇をあおぎ、風鈴の音色をゆっくり聞きながらスイカを食べたりすると、江戸の情緒を感じながら「ほてり」がそれそうですね。また、休日には涼を求めて「滝浴み(たきあみ)」というのも良いですね。

（公社）日本鍼灸師会メールマガジンNo.79 2017年7月
7日発行より抜粋

新型コロナウイルス禍によって私たちの生活は大きく変わってしまいました。新しい日常はもう始まっていますが、右を向けば自粛、左を向けば三密への注意。前に専門家、後ろに匿名の正義。言われていることや行われていることは100年前と変わらないとも聞きます。早期にワクチンと治療薬の開発が進むことを願います。私たち鍼灸師も、来院される方のために、出来る対策をしっかりと取つて参ります。

頑張ろう日本！

公益社団法人 京都府鍼灸師会 会誌
「はりきゅっていきましょう！」令和2年度 夏号
発行 令和2年7月
発行所 公益社団法人 京都府鍼灸師会
編集者 森岡 正和
岡田 高・岸本 敬司
〒602-8147
京都市上京区葭屋町通楳木町下ル直家町215-5
TEL 075-801-2957 Fax 075-841-0200
E-mail: kyotofushinkyushikai@gae.ocn.ne.jp
URL: http://www.kyoto-shinkyu.jp/

健康雑学

「ファクターX」

世界中に蔓延し、未だその脅威に対しワクチン・治療薬が無いまま、日々増加する患者数死者数におののくばかりですが、我が国では台湾やニュージーランドほどではないものの、第1段階としての感染拡大は抑えられたとの判断から、全国の緊急事態宣言は解除されました。

6月14日時点での日本における死者は924人とG7(主要先進7カ国)の中で飛び抜けて低い1000人以下にとどまっています。なぜでしょう？

その要因を「ファクターX」と名付けて今世界の医療関係者が調査を進めています。ノーベル生理学・医学賞の受賞者本庶佑氏は「なぜ日本の感染率や死亡率がこれほど低いのかは、ほとんどの医学の専門家にとって依然、ミステリーだ」と述べた上で、「日本人は手を洗う習慣があるなどきれい好きで、（人前で）キスやハグもしない、結核を予防するBCGワクチンの影響も考えられる」と。あなたは何がファクターXだと思いますか？

